

## 2-34-7 仁和寺 重要文化財 御影堂

建立／江戸初期 寛永年間（1624～1644）

本尊／弘法大師

真言宗の祖師である弘法大師空海、仁和寺開山寛平法皇、第2世性信親王を安置する。  
現在の御影堂は、慶長年間（1596～1615）造営の内裏清涼殿の一部を賜り、寛永年間（1624～1644）に再建されたもの。蔀戸の金具なども清涼殿のものを利用するが、檜皮葺を用いた外観は、弘法大師が住まう落ち着いた仏堂の印象を与えている。

※清涼殿=内裏の殿舎の一つであり、天皇の日常生活の居所。

仁和寺の説明板より